

つなげよう つながろう
ふたばのわ



みっと、ふるまじ
双葉町。

表紙は双葉中学校校外学習

- ▶見て、聞いて、感じる、双葉町のいま — 双葉中学校校外学習 — (P2・3)
- ▶そなえるふくしま防災出前講座(P3) ▶ふたばワールド・標葉祭り(P4・5)
- ▶スマイルフォト・町民コミュニティに関するアンケート回答期限延長のお知らせ(P6)
- ▶タブレットの豆知識・情報掲示板(P7)
- ▶放射線モニタリング情報・ふたさぼミニコラム・今月のオフショット(P8)

■発行：双葉町秘書広報課(☎0240-33-0125) ■企画・編集：双葉町復興支援員(ふたさぼ)

インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ



町公式フェイスブックページ
<http://facebook.com/fukushima.futaba>



町公式ブログ
<https://futabanowa.wordpress.com>



見て、聞いて、感じる、双葉町のいま

双葉中学校 校外学習

9月6日、7日に双葉中学校の校外学習が実施され、生徒9人が2日間かけて双葉町と浪江町を見学しました。特定復興再生拠点区域の避難指示が解除され、双葉町は今まさに復興に向けて大きく動いています。生徒たちは変化していく双葉町を実際に見て、何を感じたのでしょうか。

1日目

町内を見学する生徒



役場新庁舎で伊澤町長のお話を聞く



1日目、生徒たちはJR双葉駅を訪れ、ふたばプロジェクトの小泉さんに双葉町の歴史や震災のこと、双葉町の現状について実際に町を歩きながら説明を受けました。新しい駅舎や双葉町役場新庁舎など新しい建物がある一方、震災当時のままの建物が混在する町の様子を各々のカメラで収めていました。役場新庁舎内も見学し、伊澤町長から双葉町の現状と今後の双葉町について詳しい説明を受け、真剣な表情で聞いていました。



2日目

請戸小学校



東日本大震災・原子力災害伝承館



語り部講話



午後は東日本大震災・原子力災害伝承館を見学しました。伝承館のスタッフで元双葉南小学校長の泉田さんに力所^{ちからどころ}ずつ足を止めながら丁寧に説明してもらいました。生徒たちは頷^{うなづ}いたり、メモを取ったり、時には質問したりして、みんな真剣に話を聞いていました。

2日目は午前^{ごぜん}に請戸小学校へ。展示品を撮影しながら感慨深^{かんがいふか}そうに見学しており、映像ブースでは、感情移入^{かんじうつりいれ}して目を潤^{うる}ませる生徒もいました。

展示品を真剣に見つめる



そなえるふくしま 防災出前講座



8月31日、いわき市の町立学校仮設校舎体育館にて「そなえるふくしま防災出前講座」が行われました。福島県危機管理課から3人の講師にお越しいただき、双葉南・北小の3年生から6年生の児童が災害からどのようにして自分の命を守ればよいのかを学びました。

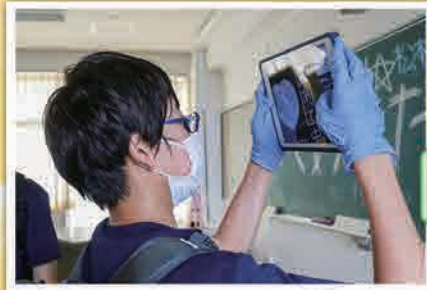
震災や台風などの自然災害について近年の写真を見ながら被害の様子について学んだあと、災害時の行動に関するクイズがあり、配布されたノートを見ながら災害時の正しい行動について考えながら答えました。



また、スマートフォンを使って地震や水害のVR(バーチャル・リアリティ)体験をしました。地震によって物が落ちて割れたり、建物が倒壊したり、土石流に巨大な岩や建物が流されたりと刻々と状況が変わっていく様子を目の当たりにして、災害の恐ろしさを実感していました。参加した児童たちは改めて普段から備えることの大切さを学びました。



午後は双葉中学校へ。通うはずだった校舎に足を踏み入れるというところで最初は少し緊張した様子の生徒たちでしたが、次第に慣れてきてそれぞれ気になるところを撮影しながら校内を見て回りました。音楽室のピアノを見つけて先生が校歌を弾き出すと、生徒や他の先生たちが自然とピアノの周りに集まり、みんなで校歌を歌う場面もありました。



教室内を見学



自然と集まり校歌を歌う

校外学習の動画はこちらのQRコードから見るができます。



校外学習の最後は語り部講話。伝承館のスタッフである横山さんから、小学生の時の被災経験の話を聞きました。ご自身の体験の中から、災害が起きた時、避難場所について家族と事前にきちんと話しておくことが大事であると伝えられ、生徒たちはその重要性を再認識しました。

2日間の校外学習の生徒たちの様子は双葉町公式YouTubeチャンネルでも紹介していますのでぜひご覧ください。



震災遺構
浪江町立蒲戸小学校



ふたば ワールド

2022
9/23

祝

9月23日、双葉町産業交流センターで「ふたばワールド2022 in 双葉」が開催されました。ふたばワールドは全国に避難している双葉地方の住民の交流の機会を作るイベントとして2013年以降、双葉郡内の各町村を巡回しながら開催されてきました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により3年ぶりの開催、さらに双葉町では震災後初の開催となり、双葉郡や福島県内外からたくさんの方が双葉町に足を運びました。



2022
9/10
土

標葉祭り

9月10日、大熊町の新しい交流施設である大熊町交流ゾーンで標葉祭りが開催されました。このイベントは、標葉地域4町村、双葉町・浪江町・大熊町・葛尾村の魅力発信して「こうとう」というので、ステージでは各地の伝統芸能やアーティストのライブ等が披露されたほか、飲食ブースや体験ブースでは各地域の自慢の品々が並びました。天候にも恵まれ、会場には多くの人が足を運びました。

双葉町からは標葉せんだん太鼓保存会がステージで「夏」と「稲妻」を披露しました。演奏が始まるとその迫力に観客は釘付け。圧巻のパフォーマンスにたくさんの拍手が送られました。双葉町の名物巨大ダルマ引きは「北が勝てば豊年満作、



出演ゲストからのメッセージ



加藤 登紀子 さん

どこで暮らしていても、故郷の思い出が人の繋がりを保つ大切なものだと思うので、その1つの思い出として残していただける日になればいいなと思います。



Kiroro 金城綾乃 さん

帰りたくても帰れないという思いを温度として感じられ、来てよかったなと思いました。この思いを全国の皆さんに伝えていきたいと思えます。

朝から激しい雨が降っており開催が危ぶまれましたが、会場の皆さんのふたばワールドへの想いが届き、イベントが始まると雨が上がりました。

双葉郡内各地のグルメ・特産品のテントが立ち並び「ふたばふるさとマルシェ」、復興の取り組み等を紹介する「ふたば地方なう」、体験コーナーや恒例の大鍋プロジェクトなど盛りだくさんのイベントが行われ、会場は終日賑わいを見せました。

特設ステージでは加藤登紀子さん、Kiroroの金城綾乃さんなど豪華ゲストのほか、双葉郡の様々な芸能団体が出演。双葉町からは標葉せんだん太鼓保存会、J.Aスマイル大正琴、三享芸能保存会、前沢女宝財踊り保存会が出演し会場を賑わせました。

会場内では知り合いを見つけ手を振る姿や、再会を喜び話を弾ませる町民の方の姿も見られ、イベントを通して交流を深めていました。



南が勝てば商売繁盛」ということで大人も子どもも懸命に綱を引き合いました。応援や拍手が送られる中、3本勝負の結果は南が勝ち、会場は大いに盛り上がりました。

体験ブースでは双葉町観光協会が缶バッジ作りのワークショップを開き、参加された皆さんは楽しそうにイラストや文字を描いていました。完成後には抽選くじを回すことができ、当選者には双葉ダルマがプレゼントされていました。



ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



9月4日(日)
福島県総合体育大会
県民スポーツ相双地域大会(南相馬市)



9月10日(土)
標葉祭り(大熊町)



9月17日(土)
市町村対抗福島県軟式野球大会(福島市)



町民コミュニティに関するアンケートについて ～回答期限の延長および回答のお願い～

7月15日発行の『ふたばのわ』に同封しました、町民コミュニティに関するアンケートにつきまして下記のとおり、回答期限を延長いたします。

11月30日(水)までにご回答をお願いいたします

回答方法

アンケート用紙またはインターネットの
いずれかの方法でご回答をお願いいたします

アンケート用紙

7/15発行のふたばのわに同封した
アンケート用紙にご回答いただき
添付の返信用封筒でご返送

※同じ世帯でご回答者様が複数名いらっしゃる場合はインターネット
上のwebページにて、それぞれご回答をお願いいたします。

インターネット

右のQRコードを読み取り
webページよりご回答



インターネット
でのご回答は
こちら

※当該webページに接続するための
通信料金、パケット使用料等は
ご回答者様の負担とさせていただきます。

アンケート用紙が無い方はWebでの回答または、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

アンケートに関するお問い合わせ先

双葉町いわき支所 住民生活課 生活支援・賠償対策係 電話0246-84-5200(代表)

知って得する **タブレット豆知識** ～防災活用編～

町貸与タブレットの便利な機能をご紹介します!

町貸与タブレット端末 台風シーズンにもおすすめの防災速報機能

① 災害通知機能

電源を入れておくだけで、台風情報だけでなく緊急地震速報や豪雨情報など様々な防災情報が迅速に通知されます。万が一に備えて日頃から電源を入れておくことをおすすめします。



② 充実した防災関連アプリ



◆ **NHKニュース防災**
最新ニュースや災害情報をいち早くお届け。マップ上で雨雲や台風、河川情報をチェックできます。



◆ **Y!防災速報**
避難情報、地震情報、豪雨予報、国民保護情報(Jアラート)などさまざまな天気・災害情報に対応。



◆ **docomo災害用キット**
「災害用伝言板」や緊急速報「エリアメール」などがご利用いただけます。



タブレットは緊急時に備え普段から充電をして、常に電源を入れておきましょう

タブレット端末に関するお問い合わせ

ふたばアプリ運営サポートセンター ☎0120-274-280 【受付時間 平日 9:00～18:00 (土日・祝日を除く)】

自治会イベント

※今後の状況によってはイベントが延期・または中止となる場合がございます。

情報掲示板

双葉町県南双樹会(白河市)

双葉町つくば自治会(つくば市)

11月中旬 ▶ 関の森公園美化運動と芋煮会

11/9 ▶ 日帰り旅行(笠間方面)

放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

令和4年9月22日

- ①郡山市 日和田応急仮設住宅 …… 0.11~0.23
- ②福島市 県北保健福祉事務所 …… 0.12
- ③郡山市 県郡山合同庁舎 …… 0.07
- ④白河市 県白河合同庁舎 …… 0.06
- ⑤会津若松市 県会津若松合同庁舎 0.05
- ⑥南会津町 県南会津合同庁舎 …… 0.04
- ⑦南相馬市 県南相馬合同庁舎 …… 0.06
- ⑧いわき市 県いわき合同庁舎 …… 0.06



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

原子力規制委員会ホームページより
※「細谷地区 消防屯所前」は9月20日測定

地区	地点	平成24年 4月1日	令和4年 9月22日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.17
新山	新山公民館	—	0.15
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.17
新山	双葉南小学校	—	0.18
新山	双葉中学校	—	0.16
新山	県立双葉高等学校	—	0.19
新山	中央公園	—	0.21
新山	高万迫	—	0.67
下条	双葉総合公園	2.60	0.54
下条	双葉町役場	—	0.20
郡山	郡山公民館	1.48	0.27
細谷	双葉町仮設処理第一施設北側	—	0.30
細谷	消防屯所前	—	0.60
細谷	細谷公民館	—	調整中
三字	三字公民館	2.53	0.15
山田	山田農村広場	24.47	2.80
石熊	石熊公民館	12.10	調整中

地区	地点	平成24年 4月1日	令和4年 9月22日
長塚	双葉町体育館	6.25	0.40
長塚	長塚二公民館	3.26	0.21
長塚	双葉町青年婦人会館	—	1.19
長塚	町西住宅	—	0.16
長塚	JA ふたば北部営農センター	—	0.96
長塚	双葉北小学校	—	0.36
長塚	ふたば幼稚園	—	1.03
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.28
長塚	双葉町児童館	—	0.23
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.27
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.27
寺松	寺松公民館	3.46	調整中
渋川	渋川公民館	1.48	0.31
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	0.51
中田	中田公民館	0.77	0.16
両竹	両竹公民館	0.54	0.07
浜野	双葉町産業交流センター	—	調整中

全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<https://www.erms.nsr.go.jp/nra-ramis-web/g/>

ふたさぼミニコラム

岐阜県出身の私ですが、福島県に来て先月で2年が経ちました。そんな私が今年の夏感じた福島県の魅力は、桃が安くて美味しいところ。実家に桃を送ったら「福島の桃は美味しい。また送って!」と好評でした。それから、海にすぐ行けるところ。岐阜県は海なし県なので、海に気軽に行くことができる生活をとても贅沢に感じました。今年

の秋は何を楽しもうか、構想を練っているところです。

森 文香



今月のオフショット

交通安全出動式



9月21日

産業交流センターで行われた交通安全出動式に
双葉ダルマさんも出席し、
交通安全の呼びかけを手伝いました。